

Grandview

PROJECTION SCREEN

電動巻き上げ型スクリーン 取り扱い設置説明書

(GEA-RC180HDW/RC-200HDW)
(GEA-RC150AFW/RC180AFW/RC200AFW)

このたびはグランビュプロジェクションスクリーンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。お求めのスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの「取り扱いおよび設置説明書」をよくお読みください。お読みになったあとは大切に保管し、わからないことがおきたときに読みなおしてください。

安全上のご注意

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置方法を誤ったときに生じる、危害や損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。

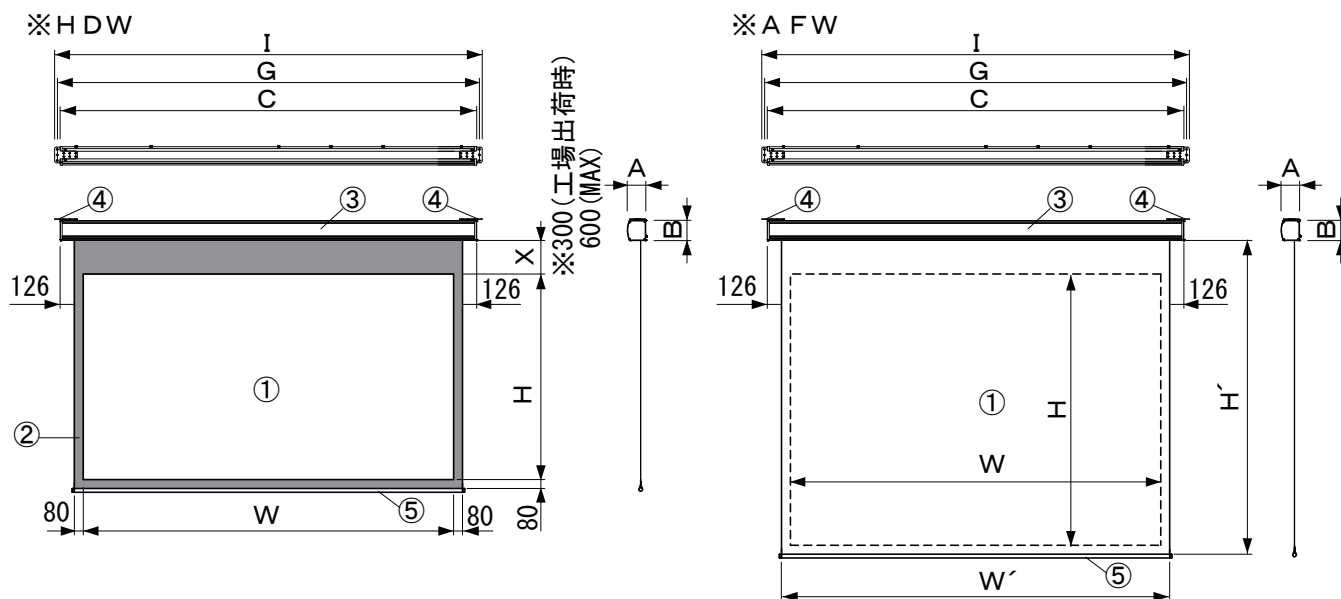
◆ 下記のマークのある注意事項および、指示内容を、必ずお守りください。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

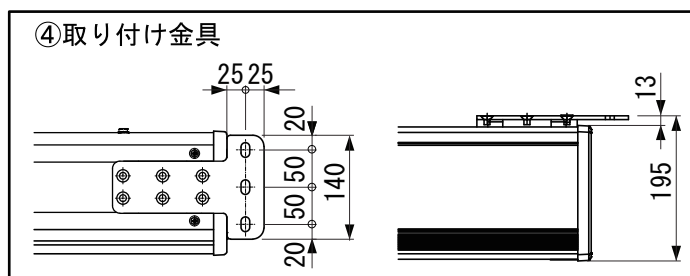
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただきたい「厳守」内容です。

取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

各部の名称・仕様および寸法



名 称	①	スクリーン	④	取り付け金具
	②	マスク	⑤	下部パイプ
	③	スクリーンケース	⑥	



スクリーン規格一覧

■HDサイズ(16 ; 9)

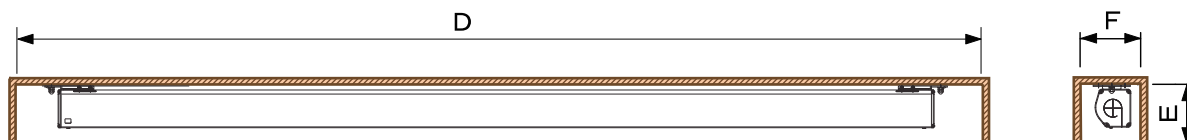
型番	スクリーンサイズ		ケース外形寸法			取付穴芯	外形寸法	重量	消費電力
	W (mm)	H (mm)	A (mm)	B (mm)	C (mm)	G (mm)	I (mm)	(Kg)	(W)
GEA-RC180HDW	3984	2241	167	182	4396	4446	4496	約68.0	170
GEA-RC200HDW	4427	2490	167	182	4839	4889	4939	約73.6	170

■アスペクトフリーサイズ

型番	スクリーンサイズ		トータルエリア		ケース外形寸法			取付穴芯	外形寸法	重量	消費電力
	W (mm)	H (mm)	W' (mm)	H' (mm)	A (mm)	B (mm)	C (mm)	G (mm)	I (mm)	(Kg)	(W)
GEA-RC150AFW	3320	2286	3480	2966	167	182	3732	3782	3832	約61.5	170
GEA-RC180AFW	3984	2743	4144	3423	167	182	4396	4446	4496	約70.7	170
GEA-RC200AFW	4427	3048	4587	3728	167	182	4839	4889	4939	約76.7	170

※ 輸入商品の為、予告なしに仕様変更する事があります。

天井埋め込みBOX参考寸法(内寸法)



※天井埋め込みBOXはお客様側でご用意ください。

天井埋め込みBOX内寸					
HDタイプ			AFWタイプ		
D	E	F	D	E	F
150			150	4200 × 250 × 250	
180	4800 × 250 × 250		180	4800 × 250 × 250	
200	5200 × 250 × 250		200	5200 × 250 × 250	

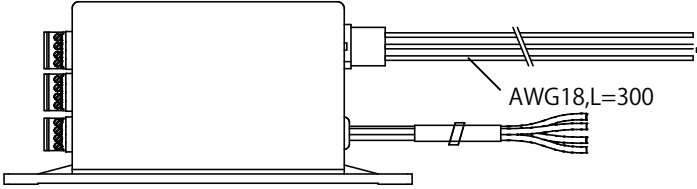
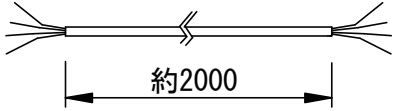
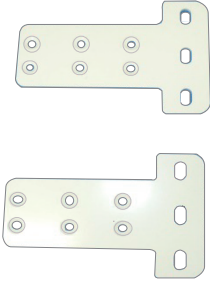
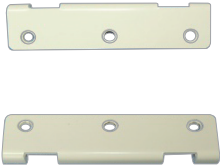
付属品

取り付けの前に、下記の付属品が入っているかを確認してください。



警告

下記設置部品以外での取り付けはしないでください。
取り付け時の不備による脱落の恐れがあります。

 CD4-L・・・1個 (外付けコントローラー)	
 約2000 先バラモジュールケーブル・・・1個	 壁取り付けスイッチ・・・1個
 取り付け金具A・・・2個	 取り付け金具B・・・2個
 M8皿ネジ・・・12個	 六角レンチ・・・1本
取り扱い及び設置説明書・・・1冊	

スクリーン取り付け方法

天井に設置する場合



警告

- ◆スクリーンを設置する天井の強度をご確認ください。
また石こうボードやパーティクルボードなどの場合は、下地の補強が必要です。
強度が心配な場合は、必要に応じて補強してください。
- ◆補強が不足している面に取り付けると脱落する恐れがあります。



注意



禁止

- ◆天井取付に際し、下記の方法は絶対にしないでください。

- ・ボードアンカーのみによる施工
- ・ALCアンカーによる吊り下げ
- ・天井裏Mバーへ直接重荷をかける施工
- ・付属の金具では壁取り付けはできません。



注意

取り付け位置は、スケールやレーザーポインター等の道具で位置を決定し、必ずそれぞれが平行になるようにしてください。平行がとれていない状態で取り付け金具を取り付けるとスクリーンを取り付けできない場合があります。

※ 固定用のボルト・ナット類は同梱しておりませんので、下記の部品をあらかじめご用意下さい。

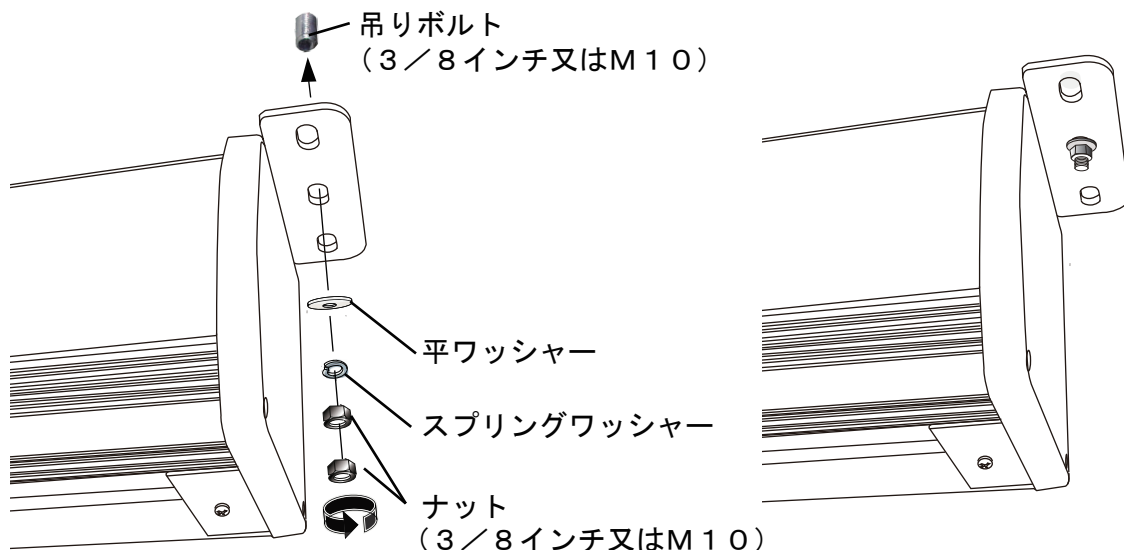
吊りボルト（3／8インチ又はM10）	×	2本
ナット（3／8インチ又はM10）	×	4個
平ワッシャー	×	2枚
スプリングワッシャー	×	2枚
（※上記は左右1点ずつ固定の場合の数量です。）		



警告

指定ボルト以外での取付は、しないでください。取付等の不備による脱落の恐れがあります。

- ① 取付穴芯寸法(G)にて吊りボルト（3／8インチ又はM10）を天井から降ろして下さい。
- ② 吊りボルトに取り付け金具の穴位置を合わせます。
- ③ 平ワッシャー・スプリングワッシャー・ナットの順で締め込みます。
- ④ 脱落防止の為に、更にもう1個ナットを追加して締め込みます。



注意

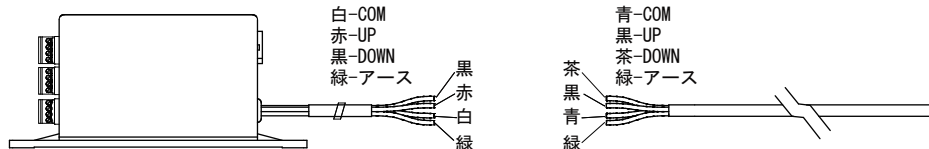
取り付けピッチは、スケールやレーザーポインター等の道具で位置を決定し、必ずそれぞれが平行になるようにしてください。平行になっていない状態で取り付けますと、スクリーンケースが曲って取り付けられる場合があります。

外付制御スイッチを接続する方法

接続をする前に：

- ・スクリーン本体コントロール部の電源を必ず切った状態で接続してください。
- ・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は誤動作の原因となります。抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。
- ・線どうしは絶縁圧着端子などで確実に接続してください。

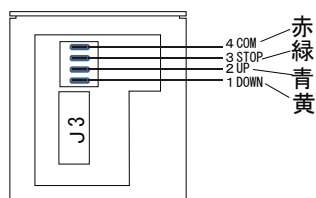
① CD4-Lとスクリーン電源ケーブル(モーター入力)を接続する。



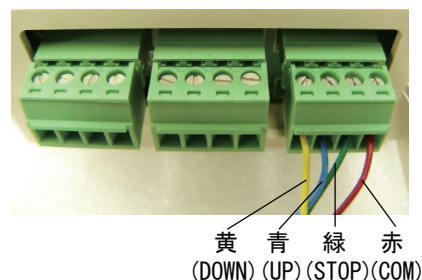
② 先バラモジュールケーブルをCD4-Lと外付け制御スイッチに接続する。

②-1

細いマイナスドライバーなどで回して差し込み口を広げ、ターミナル番号と線色を合わせてケーブルを差し込み締め付けします。



(J3拡大図)



②-2

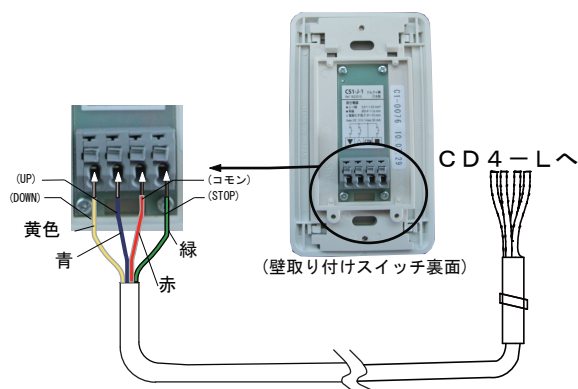
接続線脱着ボタンを細いマイナスドライバーなどの先で下へ押しつけます。

②-3

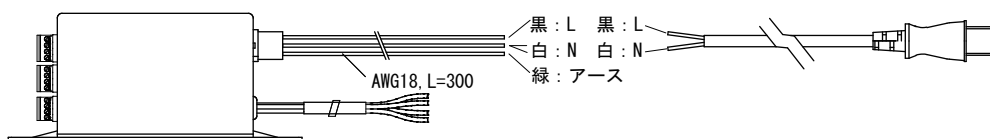
押しつけた下側の線差し込み口へ結線図で指定された線を差し込みボタンからマイナスドライバーをはなします。軽く線をつまんで引っ張り線が抜けない事を確認します。抜ける場合は、ボタンの押し方や、線の差し込み方が不足しているのもう一度、同じ動作を繰り返します。

②-4

残りの3つの線も同時に行い接続します。



③ CD4-Lに電源コードを接続する。



禁止

- ・モジュールケーブルの差し込みは必ず電源コードをコンセントに差し込む前に実施してください。電源ONの状態では抜き差しすると誤動作する恐れがあります。
- ・電源コードに物を強くぶついたり火気類を近づけないでください。コードの破損によって火災や感電などの恐れがあります。



- ・接続線脱着ボタンは下へ確実に押しってください。押し方が不十分ですと、下の差し込み口に線が入らず正しく接続できません。
- ・差し込み口へは、線を確実にさしこんでください。
- ・確実にさしこまれていないと正しく動作しない恐れがあります。
- ・モジュールケーブルは必ず付属品をご使用してください。

* 中間ケーブル（推奨：VCTF 0.75 4芯）は、別途ご用意ください。



線色を合わせて、確実に絶縁圧着端子等で結線してください。

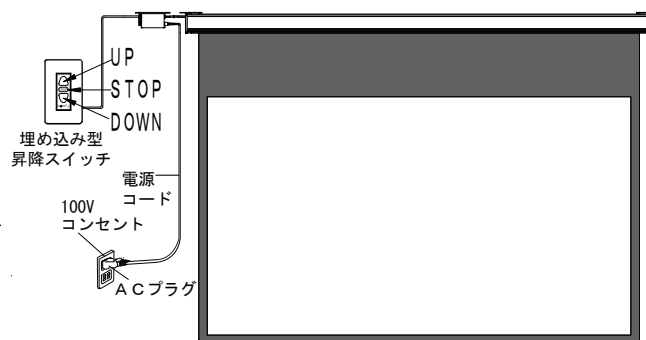


圧着が不十分ですと、動作しない事がありますのでご注意ください。

スクリーンの使い方

スクリーンを使うとき

- ・ DOWN (下降) 側へ、ボタンを押してください。設定された位置まで自動的に下がり停止します。
- ・ スクリーンを任意の位置で停止させる時、もしくは緊急に止めたいときは、STOP ボタンを押してください。
- ・ 使い終わりましたら、UP (上昇) ボタンを押してください。スクリーンがケース内に収納され、自動的に停止します。



動作中に、異常な音や臭いがある場合や、結露など不測の要因で本体に水が入った場合はすぐに使用を中止し、電源コードのACプラグを抜いてください。中止後はただちに取り扱い店にご相談ください。そのまま使用しますと火災や故障の原因となります。



注意

- ・ スクリーンが下降中、または上昇中にいきなり上昇スイッチ、または下降スイッチを押さないでください。必ず停止スイッチを押してから、上昇スイッチ、下降スイッチを押してください。
- ・ スクリーン表面保護のため、ご使用後は必ずスクリーンを巻き戻すようにしてください。その際に虫等が付着していない事を必ず確認してください。
- ・ スクリーンの停止位置を変える場合(6ページ)は、代理店、又は施工業者にご相談ください。
- ・ 長時間スクリーンを使用しない場合は、電源コードのACプラグをコンセントから抜いておいてください。

スクリーン停止位置の変更(リミッター調整)

HD:スクリーン上部のマスク巾は約300mmに設定されています。(工場出荷時)

リミッター調整用ボリューム(下図参照)によりご希望の位置に変更する事ができます。(最大600mm)

AF:スクリーンの停止位置は工場出荷時に、あらかじめ最大下限位置として設定してあります。
停止位置の変更が必要な場合、最大下限位置より上の範囲で設定を行ってください。



注意

最大下限位置より下方向に設定してしまった場合、スクリーン生地が逆巻きしてしまいシワの原因となります。

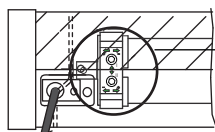


調整用ボリューム緑色は、通常の設置時には調整しないでください。下部パイプがケースに食い込んでしまいます。



調整用ボリューム緑色は、工場出荷時に調整済みですので、このボリュームには触らないでください。

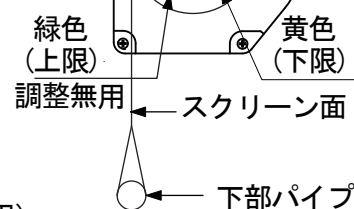
調整用ボリューム表示	
反時計廻り	+表示側
時計廻り	-表示側



左底面部(下から見た図)

調整用ボリューム黄色(下限専用)

左側面図



調整ボリューム緑色(上限専用)

スクリーン位置を下げたい場合

1. スイッチをDOWNに入れ、スクリーンが止まるまで待ちます。
2. スイッチはDOWNに入れたままにします。
3. ケース下面についているゴムキャップを外して、調整用ボリューム黄色を反時計廻り(+表示側)へ付属の六角レンチ又は、小さいドライバー等で回します。(ボリュームを1回転するとスクリーンは約25mmピッチで下がります。)
4. ご希望の位置になるまで続けてください。

スクリーン位置を上げたい場合

1. 調整用ボリューム黄色を時計廻り(-表示側に2~3回、回します。(1回転で約25mm上がります。))
2. スイッチをUPにし、スクリーンを30~40cm上げます。
3. スイッチをDOWNにし、スクリーンを下げ停止するまで待ちます。
4. ご希望の位置になるまで続けてください。



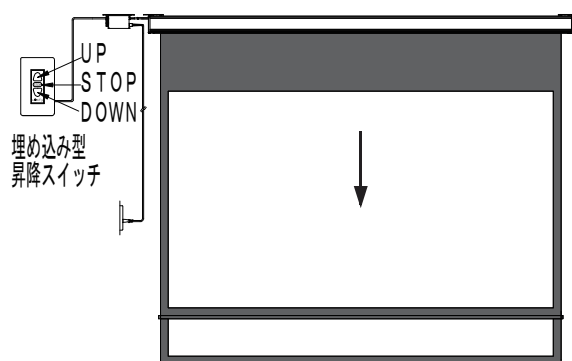
調整用ボリューム緑色はUPリミッター調整用ですが、工場出荷時に調整済みです。みだりに調整用ボリュームを回しますと、下部パイプがケースの中に食い込んでしまい故障の原因となります。



4回(往復)以上連続操作すると、モーター内部のサーマルスイッチが働きモーターは停止します。しばらく放置すると(15~20分)、サーマルスイッチが解除になり操作可能になります。(故障ではありません。)

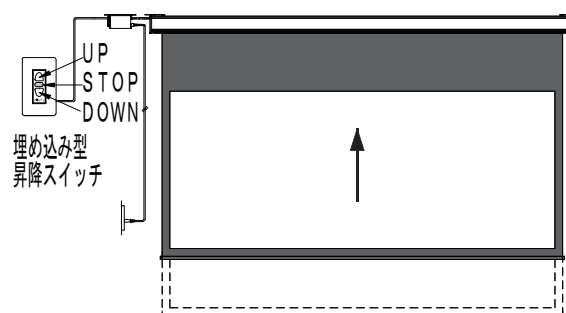
スクリーン位置が下がり過ぎた場合

スクリーン位置を上げたい場合を参照ください。



スクリーン位置が上がり過ぎた場合

スクリーン位置を下げたい場合を参照ください。





注意

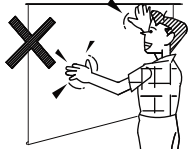
スクリーン面は反射性能を特別に強力にするために、スクリーン表面が特殊な構造となっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なう恐れがありますので、次のことに十分注意をして丁寧にお取り扱いください。

使用上のご注意

- スクリーン面に手をふれないでください。



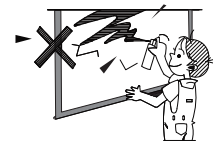
禁止



- スクリーン面に文字などを書かないでください。筆記用具の種類を問わず消すことができません。



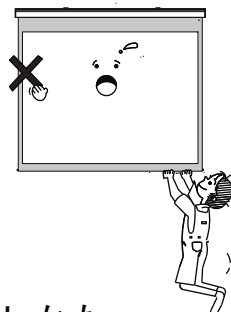
禁止



- ケースやスクリーンにぶら下がったり、掲示物をかけたりしないでください。破損したり、落下してけがの原因となることがあります。



警告



- 本体は絶対にあけないでください。故障のときはお買い上げの販売店にご相談ください。



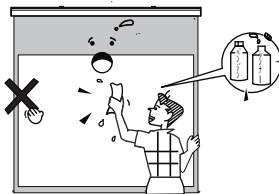
分解禁止



- 水を湿らせた布やベンジン、シンナー等でスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質したり塗料がはげたりします。



禁止



- スクリーンを無理に引き出さないでください。本体またはスクリーンが脱落する恐れがあります。



禁止



お手入れのしかた

- ケースの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



- スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。

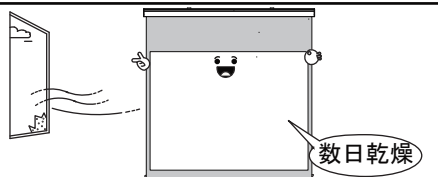


置き場所・保管についてのご注意

- 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所や熱器具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。又、高温の車中への放置もさけてください。



スクリーン表面は出荷前に充分乾燥させていますが、万一ニオイが強い場合は、窓を開け風通しを良くし、数日乾燥させてください。



販売元：日本総代理店

株式会社 キクチ科学研究所
本社

〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-35
TEL. 03-3952-5131(代) FAX. 03-3953-0051

大阪営業所

〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-5-2
四ツ橋新興産ビル1008号

TEL. 06-6567-9035(代) FAX. 06-6567-9036

<http://www.kikuchi-screen.co.jp/>

KIKUCHI SCIENCE LAB ©2022.10 GEA GEA-RC M_NW

KIKUCHI
KIKUCHI SCIENCE LABORATORY, INC.